

令和2年度「大妻女子大学・短期大学部卒業後及び大学院修了後アンケート」実施報告書

[目的]

大学・短大在学中の学習や諸経験が卒業後のキャリアや生活にどのような関係があるのか検証する。

[対象]

2017年度卒業の大学・短大生 1,779名、大学院生 12名

[実施時期]

4月13日局出 回答締切日5月31日（当初5月7日であったが返信が多数あったため延長した）

[実施方法]

登録回答用紙を利用し全4問を回答する。

※大学院は全3問

[実施責任者]

登録回答用紙アンケート部分 企画・戦略室

[活用方法]

大学・短大、大学院における教育内容やサービスの改善、在学生在が自分の進路を考えるための資料とする。

[実施結果]

★大学・短大

対象者 1,779名（昨年度：1,557名） 返却率 24.2%（昨年度：14.9%）

返却者数 431名（昨年度：232名）

（学部内訳 家政101名 文学80名 社情74名 人間51名 比較51名 短大74名）

★大学院

対象者 12名 返却率 41.7%

返却者数 5名

（専攻内訳 人間生活科学2名 言語文化1名 現代社会1名 臨床心理1名）

[大学・短大内訳]

雇用形態	正社員 397名 契約社員 20名 パート・アルバイト 1名 未記入 13名
職種 1	事務 183名 営業 58名 販売 39名 SE・プログラマー 26名 客室乗務員 3名 グランドスタッフ 3名 助手 4名 栄養士 15名 保育士 7名 介護福祉士 1名 その他 71名 未記入 21名
職種 2	総合職 112名 一般職 129名 専門職 30名 区別なし 55名 未記入 105名

[大学院内訳]

雇用形態	正社員 3名 契約社員 1名 パート・アルバイト 0名 未記入 1名
職種 1	事務 1名 その他 2名 未記入 2名
職種 2	総合職 1名 一般職 1名 専門職 1名 区別なし 0名 未記入 2名

本調査は、大学在学中の学習や諸経験が卒業後のキャリアや生活とどのような関係にあるのか検証し、大学・短大における教育内容やサービスの改善、在学生が自分の進路を考えるための参考資料に活用させていただきます。

Q 1. 母校で学んだことや体験した次の項目について、実社会で役に立っていると思われる選択肢に○を、役に立っていないと思われる選択肢に×をつけてください。(複数回答可)

<input type="checkbox"/>	①専門教育の授業
<input type="checkbox"/>	③全学共通科目(教養科目)の授業
<input type="checkbox"/>	⑤コンピュータ教育、情報教育
<input type="checkbox"/>	⑦資格取得
<input type="checkbox"/>	⑨大妻マネジメントアカデミー (OMA)
<input type="checkbox"/>	⑪事務職員との交流
<input type="checkbox"/>	⑬正課外活動 (部活動、サークル活動、ボランティア活動)
<input type="checkbox"/>	⑮学内キャリア支援プログラム (学内就職説明会、就職基礎講座等)

<input type="checkbox"/>	②ゼミナール・卒業論文・卒業研究
<input type="checkbox"/>	④外国語教育
<input type="checkbox"/>	⑥キャリア教育
<input type="checkbox"/>	⑧海外留学、語学研修、課外英語力強化プログラム
<input type="checkbox"/>	⑩教員との交流
<input type="checkbox"/>	⑫大妻の友人との交流
<input type="checkbox"/>	⑭学内行事(文化祭、体育祭、学友会、リーダーズ・キャンプ、所属学科の学会総会)
<input type="checkbox"/>	⑯課外資格サポート講座(課外パソコン講習、秘書検定対策講座、情報処理技術者試験対策講座等)

Q 2. 母校で学び、卒業したことで身についたと思われる選択肢に○をつけてください。(複数回答可)

<input type="checkbox"/>	①良妻賢母
<input type="checkbox"/>	③豊かな情操
<input type="checkbox"/>	⑤感謝のこころ
<input type="checkbox"/>	⑦女性の自立
<input type="checkbox"/>	⑨その他 [

<input type="checkbox"/>	②らしくあれ
<input type="checkbox"/>	④思いやりの精神
<input type="checkbox"/>	⑥校訓「恥を知れ」
<input type="checkbox"/>	⑧校章が示す「心の円満」、「技能」
]

Q 3. あなたは大妻女子大学もしくは大妻女子大学短期大学部を卒業したことを誇りに思いますか。あてはまる選択肢に○をつけてください。

<input type="checkbox"/>	①とても思う	<input type="checkbox"/>	②やや思う	<input type="checkbox"/>	③あまり思わない	<input type="checkbox"/>	④思わない	<input type="checkbox"/>	⑤わからない
--------------------------	--------	--------------------------	-------	--------------------------	----------	--------------------------	-------	--------------------------	--------

Q 4. Q 3について、そのように思う理由を差し支えない範囲でお答えください。

アンケートにご協力くださりありがとうございました。

【お知らせ】

本学ホームページの卒業生向けページをリニューアルしました。

卒業生対象の講座、就職サポート、施設利用・貸出やホームカミングなどの他、昨年度の本アンケート結果なども掲載していますので是非一度ご覧ください。

本調査は、本学大学院在学中の学修、研究や諸経験が修了後のキャリアや生活とどのような関係にあるのか検証し、本学大学院における教育内容や研究環境の改善、在学生が自分の進路を考えるための参考資料に活用させていただきます。

Q1. 本学大学院で学んだことや体験した次の項目について、修了後のキャリアで役に立っていると思われる選択肢に○をつけてください。(複数回答可)

<input type="checkbox"/>	①大学院での授業全般
<input type="checkbox"/>	③研究活動
<input type="checkbox"/>	⑤論文発表、最終試験
<input type="checkbox"/>	⑦院生時代に築いた人脈
<input type="checkbox"/>	⑨特に役立っているものはない

<input type="checkbox"/>	②指導教員による指導
<input type="checkbox"/>	④論文執筆
<input type="checkbox"/>	⑥資格取得
<input type="checkbox"/>	⑧その他 ()

Q2. 本学大学院在学中に伸びたと思われる項目に○をつけてください。(複数回答可)

<input type="checkbox"/>	①専門的知識
<input type="checkbox"/>	③専門分野の研究能力
<input type="checkbox"/>	⑤情報収集・分析力
<input type="checkbox"/>	⑦計画力・実行力
<input type="checkbox"/>	⑨コミュニケーション力
<input type="checkbox"/>	⑪リーダーシップ

<input type="checkbox"/>	②幅広い知識・教養
<input type="checkbox"/>	④外国語の運用力
<input type="checkbox"/>	⑥問題発見・解決力
<input type="checkbox"/>	⑧プレゼンテーション力
<input type="checkbox"/>	⑩主体的に取り組む力
<input type="checkbox"/>	⑫その他 ()

Q3. 本学大学院を修了したことを誇りに思いますか。あてはまる選択肢に○をつけてください。

<input type="checkbox"/>	①とても思う	<input type="checkbox"/>	②やや思う	<input type="checkbox"/>	③あまり思わない	<input type="checkbox"/>	④思わない	<input type="checkbox"/>	⑤わからない
--------------------------	--------	--------------------------	-------	--------------------------	----------	--------------------------	-------	--------------------------	--------

アンケートにご協力くださりありがとうございました。

【お知らせ】

本学ホームページの卒業生向けページをリニューアルしました。

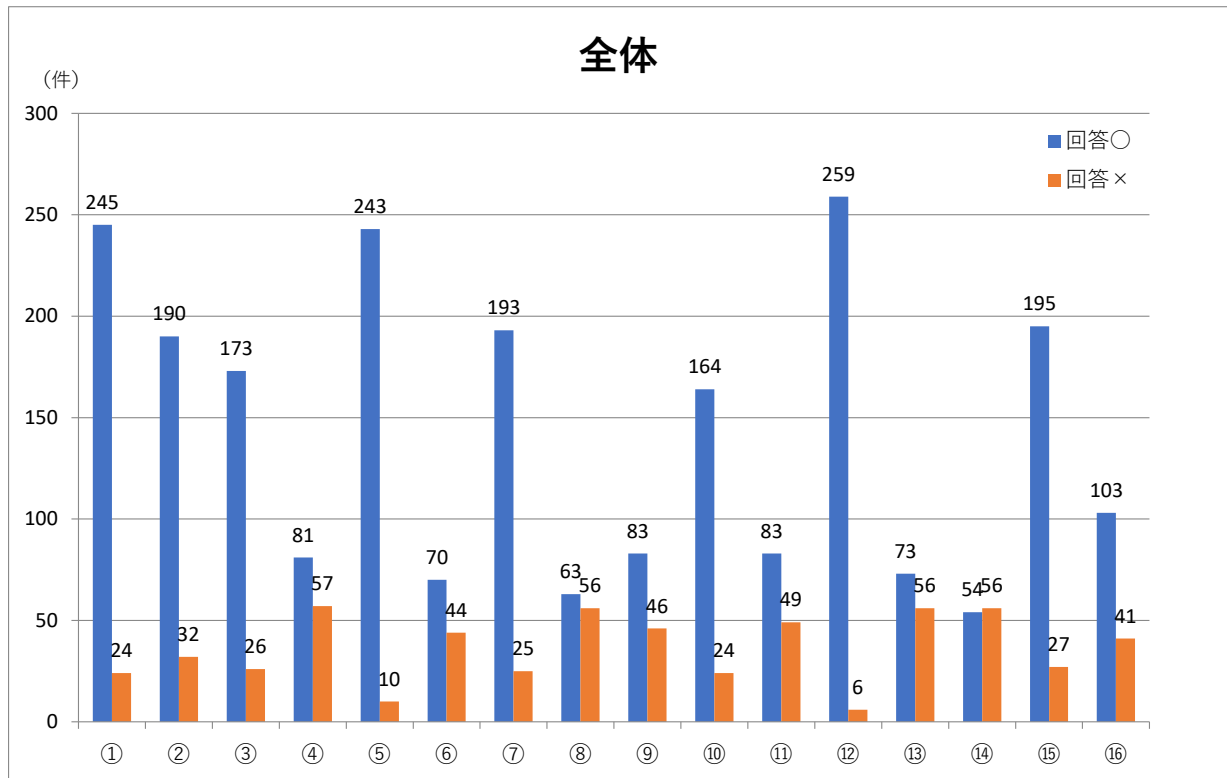
卒業生対象の講座、就職サポート、施設利用・貸出やホームカミングなどの他、昨年度の本アンケート結果なども掲載していますので是非一度ご覧ください。

【設問1】 母校で学んだことや体験した次の項目について、実社会で役に立っているとされる選択肢に○を、役に立っていないと思われる選択肢に×をつけてください（複数回答可）。

※設問1に関するグラフは「○」を集計。

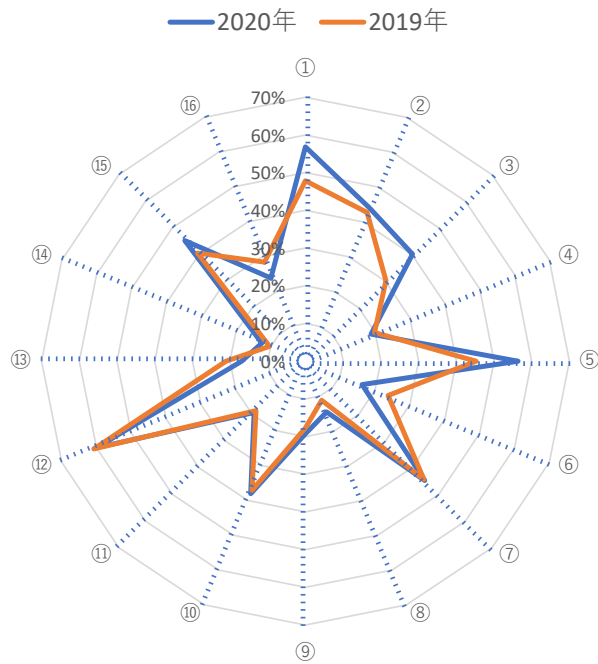
【選択肢】

- ①専門教育 ②ゼミ・卒論・卒研 ③全学共通科目（教養科目） ④外国語教育 ⑤コンピュータ教育、情報教育
- ⑥キャリア教育 ⑦資格取得 ⑧海外留学、語学研修、課外英語 ⑨OMA ⑩教員との交流 ⑪事務職員との交流
- ⑫大妻の友人との交流 ⑬正課外活動（部活、サークル、ボランティア）
- ⑭学内行事（文化祭、体育祭、学友会、リーダーズキャンプ、学会総会）
- ⑮学内キャリア支援（学内就職説明会、就職基礎講座）
- ⑯課外資格サポート講座（課外PC、秘書検、情報処理技術講座）

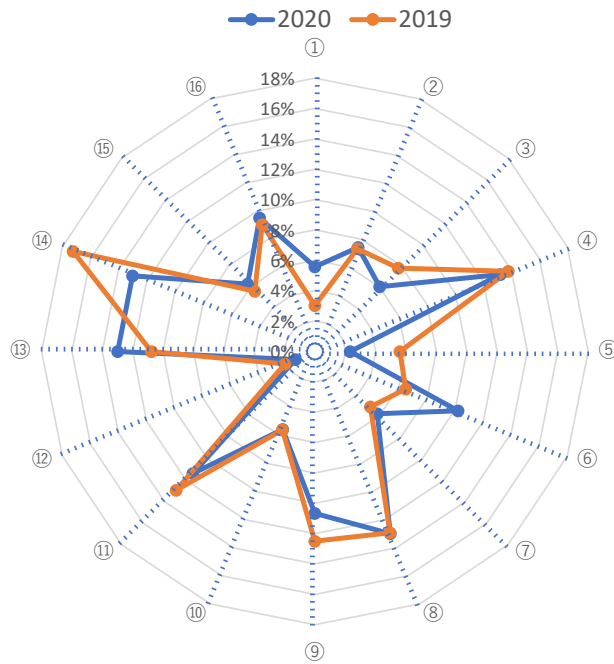


設問1の母校で学んだことや体験したことのうち、実社会で役に立っているとされるものは、選択肢⑫大妻の友人との交流、①専門教育、⑤コンピュータ教育、情報教育が上位を占め、昨年度と全く同じであった。またこの3つの選択肢については役に立っていないと思われる回答数も少なく、昨年同様卒業後のキャリアや日常生活に良い影響を与えていると推測できる。その他の選択肢についても昨年と比較しても大きな差はなく同様の回答傾向が見受けられる。

「役に立っている」と回答した割合

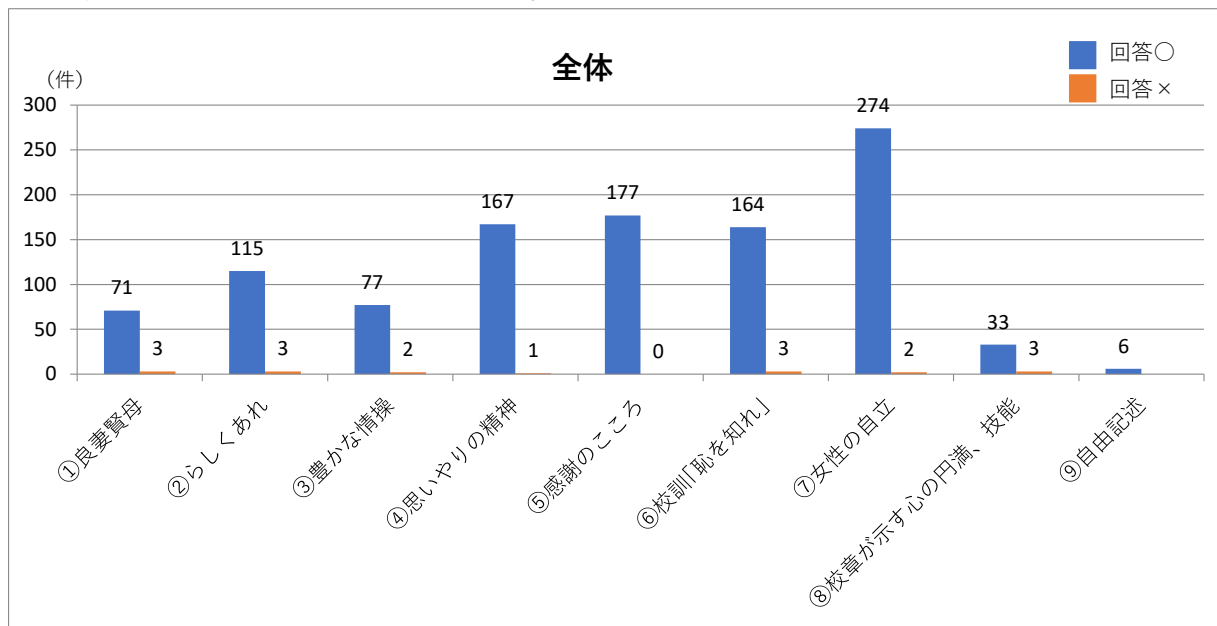


「役に立っていない」と回答した割合



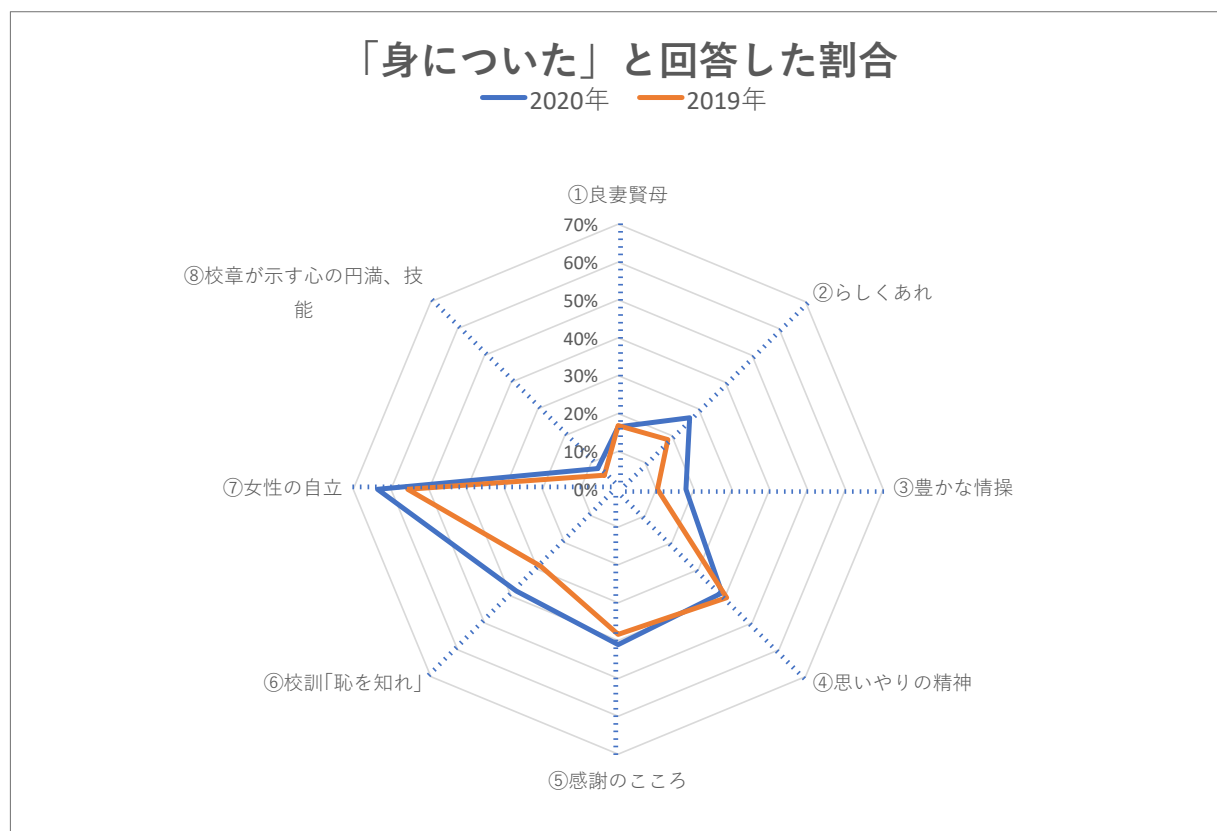
〔設問2〕 母校で学び、卒業したことで身についたと思われる選択肢に○をつけてください（複数回答可）。

※なお、×の回答もあったため加えて表示している。



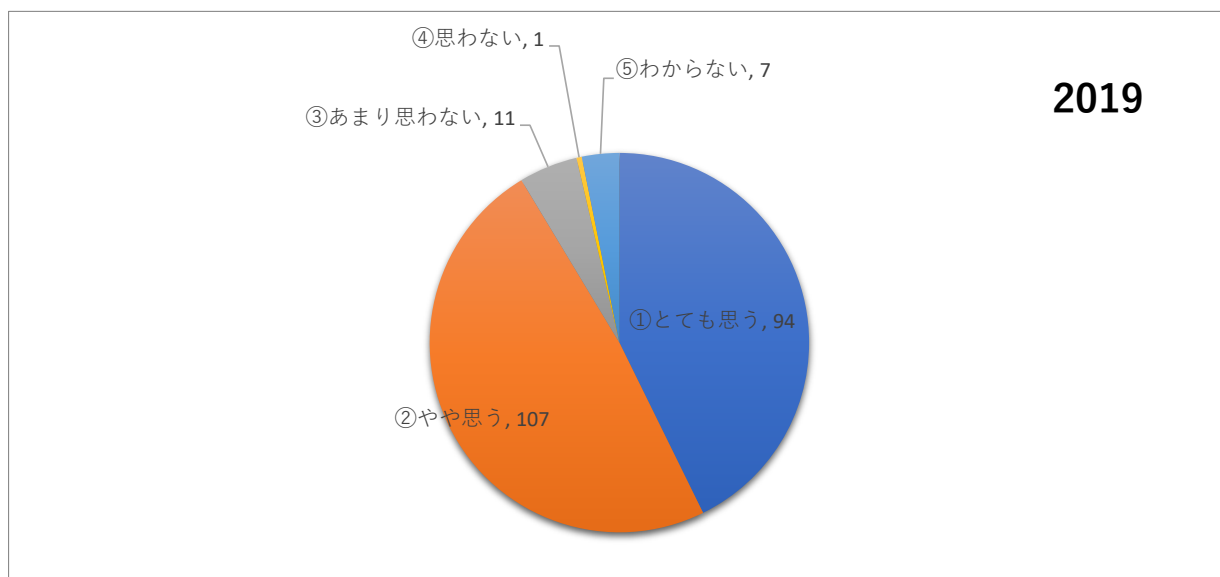
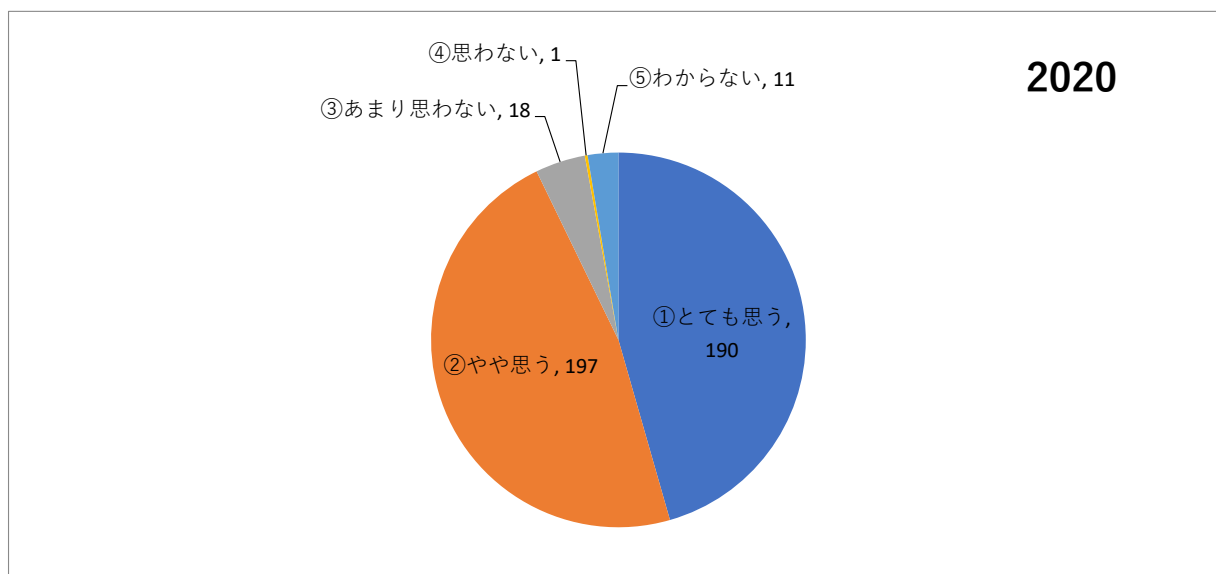
※⑨の自由記述には以下の回答があった。

- ・これからの時代は結婚しても仕事を辞めず続けるものと教えていただいたこと
- ・短期大学卒業してから大学編入したので「忍耐力」
- ・友人や教員との団結力（絆が生まれ目標に向かって皆で乗り越えることができました）
- ・女性らしさ、品格 ・女子社会での身の振り方
- ・プレゼンテーションのような、人前で披露すること



設問2の母校で学び卒業したことで身についたと思われるものは昨年同様選択肢⑦「女性の自立」が最も多く、次いで⑤「感謝のこころ」、④「思いやりの精神」、⑥「校訓恥を知れ」であった。上位4つについては順位の入替わりはあるものの選ばれる選択肢は昨年度と同様であり、本学の教育目標でもある自立した人材の育成が成果を挙げていると思われる。その他の選択肢についても経年比較の結果、同様の回答傾向が見受けられる。

[設問3] あなたは大妻女子大学もしくは大妻女子大学短期大学部を卒業したことを誇りに思いますか。



設問3の本学を卒業したことを誇りに思うかについては、昨年同様選択肢①「とても思う」、②「やや思う」の合計が約9割に達している。

[設問4] 設問3について、そのように思う理由を差し支えない範囲でお答えください。

※意見の一部を抜粋して掲載

①とても思う

良い友人に恵まれ、楽しく4年間を過ごすことができました。また、資格取得や海外留学など、自分自身のために挑戦・努力することができた経験は、間違いなく今の私に活きていると考えます。そういった環境を与えてくださった貴校を卒業できたことを、とても嬉しく、誇りに思います。
伝統ある大学だから。
中学から大妻にはお世話になっており、そこで学んだことや出会った人々が自分の人生においてとても大きなものになっているからです。とても充実した時間を過ごさせて頂きました。
短期大学部から文学部へ編入しましたが、とても充実した学生生活を送ることが出来、とても良い先生方にめぐり会うことができました。大事を選んで本当に良かったと思う1番の理由は「人」です。
大妻女子大学は先生方との距離感が大変近く、私にとって人生に大きく関わるような先生方との出会いがありました。客室乗務員という夢を作り出し、導いてくださったのも、大妻女子大学へ入学し、多くの素敵な先生方とのご縁があったからだと思っています。そして、何より、一生の付き合いとなるであろう仲間に出会うことができたのも、私にとっては誇りに思う理由です。
大妻で学んだことや、校訓「恥を知れ」が現在の自分にしっかりと身についているなど実感することが、社会人になってから多々あったため。
大学に通っている時に、幼稚園教諭になりたい思いがどんどん大きくなり、それにあたってたくさんの学びをさせていただけたことに感謝していますし、また通いたいと思うほど、教員や友人との思い出がたくさんだから。働いている時に、悩むことも多くあるが、あの時の頑張りを思い出す度に頑張ろうと思えます。心の支えとなっています。
女性としての生き方など学ぶことができた。就活の際、多くの業種の会社がきてくれ、何をしたらいいのか分からなかった時、とても助かった。女性が強い業種や、福利厚生など、女性目線の会社が多かったように思える。
今でも付き合いのある仲の良い友人にあえたので。
誇りを持って母校を卒業したと言えるから。
現在の仕事で悩んだ際、指標となるのが大妻での学びです。先生方や助手さんにもたくさん相談に乗って頂いて決断した、現在の職場への就職。大妻に通ったからこそその楽しい今の日々があるのだと感謝しています。
とても楽しい2年間を過ごし、友達も出来たから。
クラス担任制(1~4年生)があったことで、気軽に相談させてくださる先生がいたこと、10人程の少人数でのゼミがあったことが、ゼミのメンバー・先生と共に興味の近い分野について深く学習できたことが働き始めてからの支えとなっているからです。

②やや思う

友人に恵まれ、関心の向くままに研究をサポートして下さった教員の方々のおかげでとても充実した大学生活を送ることができたので。

名が知っているから、就職先も会社側の認知度が高く、就職に有利だったため。

地方では大妻女子大学の大学名のブランド力は弱い。

知名度があり、伝統ある女子大を出たというイメージを持たれることが多い（特に上司や年配の方から）。

他大学と比べると面倒見がよく、充実した大学生活だったと思う。

女性のキャリア形成について考えさせられる場面が多かったため。

女性としての生き方など学ばせて頂きました。また、ゼミナールに参加をしたことによって、様々な学生との交流であったり、先生（教員）と深く、交流できました。社会に出ても、コミュニケーションはとても大事です。このゼミナールがございましたおかげで、今も楽しく職場の方々とコミュニケーションがとれていると感じています。学生と教員が深く交流ができるのも大妻女子大学の魅力だと思います。

就活をする上で大変お世話になりました。就職支援窓口の方や学内就職説明会を開催して下さいましたことで視野を広がり早目の行動をしたことで、早期内定へと繋ぐことが出来たからです。

社会福祉士、精神保健福祉士、保育士を現役で取得することができたため。

私はとても充実した2年間を過ごすことができたと思います。大妻大学には素敵な友人も先生方もいます。しかし、何処で学ぶかより、私は自分が何を学ぶかの方が重要だと思いました。

今後のキャリアについて深く考えることができるのも、大学で女性の自立や社会について学んだことが大きく影響していると考えたため。

今の職につくことができたのは、大妻女子大学の事務職員の方の親切な対応のおかげだと思っている為。

母の母校である。女子大学なので平和、穏やかな学校生活が送れたと思う。

海外留学の経験は、サポート体制の整った大妻だからこそ、安心して勉学に励むことができたからです。女性としての活躍を全学共通科目で学びました。社会に出て、思い返して考え、よりやる気が出るからです。

③あまり思わない

とても良い先生と仲間に出会えました。

あまり大妻女子大学という肩書きや学んだことは、特に生かしている（生かしている）シーンが限りなく0なので。

④思わない

(回答無し)

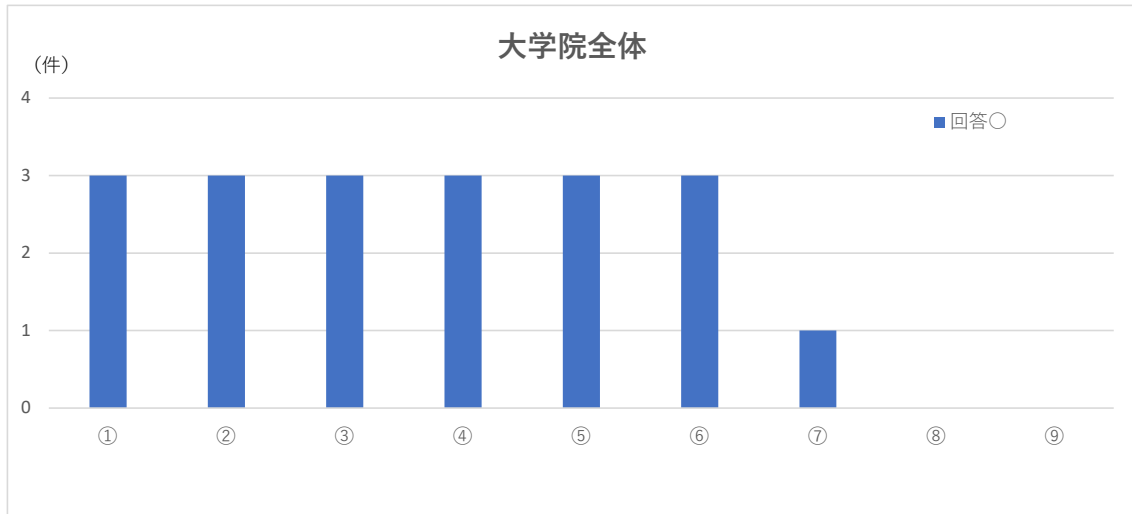
⑤わからない

まだ卒業して2年しか経っていないため。今後良く思うこともあるかもしれない。

〔設問 1〕 本学大学院で学んだことや体験した次の項目について、修了後のキャリアで役に立っていると思われる選択肢に○をつけてください（複数回答可）。

【選択肢】

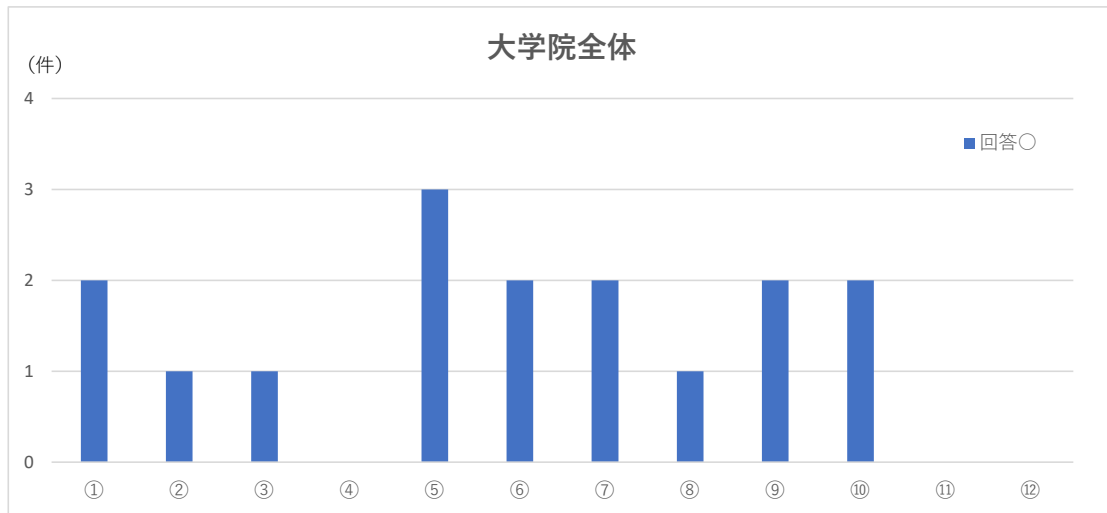
- ①大学院での授業全般 ②指導教員による指導 ③研究活動 ④論文執筆 ⑤論文発表、最終試験
 ⑥資格取得 ⑦院生時代に築いた人脈 ⑧その他（ ）
 ⑨特に役立っているものはない



〔設問 2〕 本学大学院在学中に伸びたと思われる項目に○をつけてください。（複数回答可）

【選択肢】

- ①専門的知識 ②幅広い知識・教養 ③専門分野の研究能力 ④外国語の運用力 ⑤情報収集・分析力
 ⑥問題発見・解決力 ⑦計画力・実行力 ⑧プレゼンテーション力 ⑨コミュニケーション力
 ⑩主体的に取り組み力 ⑪リーダーシップ ⑫その他（ ）



〔設問3〕 本学大学院を修了したことを誇りに思いますか。あてはまる選択肢に○をつけてください。

【選択肢】

①とても思う ②やや思う ③あまり思わない ④思わない ⑤わからない

